

清水町 町名変更に関する住民説明会 要旨

令和8年3月3日（火）10:00～11:15

北熊牛福祉館

出席者：8名

説明員：・町長、鈴木企画課長

事務局：佐藤企画課長補佐、大和田企画統計係主査

1 開会

2 町長あいさつ

3 情報提供

別紙資料について説明（鈴木課長）

4 意見交換

○渋沢栄一関連事業は費用対効果が悪かったと感じている。町名変更もあんまり変わらないのではないか。

→（町長）

東京商工会議所や深谷市、東京都北区とは良好な関係を築いている。東京商工会議所では物産展も開催しており、今年9月に大きな会議があり、その時に清水町単独でPRできる。これまでやってきたこと広げ、企業と接点を作っていきたい。金額や数字的なもので検証は出来ていないが、人的交流を今後、どう展開していくかが大事であると考えている。

○企業誘致できる見込みはあるのか、これまでどうだったのか。動いているものはあるのか。

→（町長）

いくつかの企業とは継続的に話をしている。それは町名が変更になってもならなくても変わらずやっていくが、町名変更したことによって、町名を広く知ってもらい、選んでもらえる町になるように、スピード感をもって取り組んでいくための方法だと思っている。

○企業が来るメリットは何があると考えているのか。

→（町長）

水が美味しいことや交通の要衝であることなどを町の長所として、企業に働きかけをしている。今後もの確で効果的なまちのPRを行っていきたい。

○今の時代だからこそ、ネット上でまちのことを調べれば詳細が分かるので、変更しなくてもいいと思う。

→（町長）

道内の中では知られているが、道外ではほとんど知られていない。まずはまちのことを知ってもらわないと検索してもらえないと考えている。

○公約に道の駅、体育館にあったのに、町名変更が先に出てきたのに驚いた。

→（町長）

周辺自治体へ配慮する必要もあったが、町長になる前から考えていたことではある。公約の実現に向けた戦略として行いたい。

○中高生に対する意見募集は、住民投票にどのような影響が出るのか説明が必要だと思う。適当なことしか言わないと思う。

→（鈴木課長）

こ率直な意見をもらった上で、住民投票条例提案にあたっての参考としたい。

5 閉会